

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長/片岡宏文
〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成会
消防井原分団第3部

目指すは無火災



消防出初式

平成30年井原市消防出初式が1月21日に挙行され、倉掛と夏目を管轄する地元井原分団第3部(片山敬悟部長20人)も諸行事に臨んだ。

片山敬悟部長が陣頭指揮

午前6時より機庫前で行われた第3部の式で、片山敬悟部長が今年度の防災活動へ向けて「無火災を目指し、団員一丸となって精進したい」と挨拶。倉掛及び夏目の自治連合会役員らが祝辞を述べた。

午前7時から井原小学校体育館で井原分団の式典、同10時からは市団の式典が市民会館でそれぞれ行われ、約800人の団員らが出席して新年の門出を祝った。

ポンプ車による管轄地内

- ### 第3部団員名簿
- | | | |
|-----|------|------|
| 部長 | 片山敬悟 | (夏目) |
| 副部長 | 塚原一徳 | (夏目) |
| 会計 | 増成智也 | (夏目) |
| 班長 | 片岡憲一 | (倉掛) |
| 補佐 | 田中達也 | (倉掛) |
| 組長 | 井上賢一 | (夏目) |
| 団員 | 立石浩四 | (夏目) |
| 団員 | 西山喬士 | (夏目) |
| 団員 | 今井豊大 | (倉掛) |
| 団員 | 松本利樹 | (夏目) |
| 団員 | 田中紀之 | (倉掛) |
| 団員 | 三嶋良輔 | (夏目) |
| 団員 | 翁慶一 | (倉掛) |
| 団員 | 笠原英哲 | (倉掛) |
| 団員 | 尾山裕二 | (倉掛) |
| 団員 | 丸藤慎二 | (倉掛) |
| 団員 | 瀬藤直輝 | (倉掛) |
| 団員 | 吉川直輝 | (倉掛) |



のパレードを終えた午後1時より、井原分団は向町の



小田川河川敷で住民や防火クラブの少年団員らが見守

地域の安全祈願

倉掛自治連合会

平成29年度大晦日から今年元旦にかけての深夜、郷社新年祈願祭

《河原の草刈り&焼却》
日時：平成30年3月4日(日)
午前8時～少雨決行
(雨天の場合は3/11(日))
場所：小田川大正橋付近河川敷
集合：井原生コン前
主催：井原町まちづくりの会
問合せ：井原公民館 62-8478
「お手伝いいただける方は諸道具をご用意のうえ、ご参集下さい」

る中、くす玉割りや一斉放水を披露した。

第3部準優勝

井原分団消防操法訓練大会

寒風突き消防技術競う



素早くホースを延ばす第3部1班のメンバー

社足次山神社で山室晶史宮司による新年祈願祭(写真上)が執り行われた。12月31日午後は小雨模様だったが、倉掛12・2組の松井憲司さんらが今年も参道に竹灯籠を設置。元旦の午前零時を回るころには参

平成30年井原分団消防操法訓練大会が井原小学校グラウンドで2月4日、強い

北風が吹くコンディションの中で開かれた。自動車ポンプ操法と小型

- ### 《第3部出場選手》
- | | | |
|-----|-------|------|
| 1班 | 指揮者 | 塚原一徳 |
| 1番員 | 立石浩四郎 | |
| 2番員 | 和原賢一 | |
| 3番員 | 増成智也 | |
| 補助員 | 西山喬士 | |
| 指揮者 | 吉川直輝 | |
| 1番員 | 田中達也 | |
| 2番員 | 片岡憲一 | |
| 補助員 | 西山喬士 | |

29年度決算案の審議をはじめ、自治連合会任期満了に伴う役員人事で、連合会が推薦する次期会長を総会に諮る。他の役員は4月14日の予算総会で承認を得ることになる。

決算案審議や次期会長選出

自治会総会

平成29年度倉掛自治会決算総会が3月10日午後7時より、つどえくろで開かれる。

詣者も増え始め、夜空を焦がす斎燈の周りには、暖をとる若い人たちのグループや氏子らが集まり、新年の挨拶を交わしていた。

イベントに協力

倉掛1組平井達也さん家族



女性に人気の表装フレームづくり会場

いばらアート
ループ商店街

催された。昨年末、ストアールカンに壁画が描かれ、アート作品・パフォーマンス・ワークショップを商店街で実施するプランがスタート。若手アーティスト・ボランティア・地元住民らによる2日間の文化交流イベントに至った。

平井龍仙堂の店主・平井



達也さん(倉掛1組)ら家族3人は、表具の専門的な

技術を生かした表装フレームづくり教室を井原バスセンターで開設。訪れた人たちへの細やかな指導に追われた。実行委員の神田治美さんは「井原デニムを使ったフレームづくりは関心度が高かった」と、井原で初めて開かれたアートイベントを振り返っている。

草に覆われた用水路

自治連、市へ対策要請

井原町下町から倉掛を経る小田川に流れている水路について「草で覆われ水が

流れにくくなっている。この水路を管理しているのはどこなのか。きれいにできないものか」と昨年暮れ、



倉掛の住民から倉掛新聞編集委員会のメンバーへ問い合わせがあった。指摘されている場所は、小田川堤西側にある墓地付近で、倉掛3組、4組の宅地や農地に接しており「墓地と水路の間には数軒が所有する畑があって、勝手には入れない」という。



同委員会から連絡を受

倉掛ほっと情報

■この冬の寒さ続きにうんざり…



薄っすらと雪化粧した小田川堤 2月12日倉掛地内

ラニーニャ現象に起因する寒波で井原市も1~2月は水点下の朝が続いている。倉掛のお年寄りの一人は「桜のシーズンまでもう少しの辛抱ですね」と、春を待ちかねた様子。こうした年は、冬が寒くて梅雨は短く、夏は暑い傾向にあるともいわれている。

文化祭など紹介

倉掛自治連合会

井原放送番組に出演

つどえぐる登録団体の紹介番組「つどえぐる通信」(井原放送制作)の1月版が同月25日夜に放送され、倉掛自治連合会の役員らが出演した。自治連合会は、安心安全管理などを中心とした地域活動をはじめ、平成9年5月より住民の情報共有を図ろうと倉掛新聞を創刊、昨年20周年を迎えた。井原市内では唯一、自治会のホ

れる住環境づくりを目指しています」などと答えている。このビデオはYouTubeで視聴できる。



高校部 陽球部 山野

堤監督招き講演会

井原市社会福祉協議会

井原市社会福祉協議会が芳井生涯学習センターで3月2日午前10時30分より、

「ありがとう! ボランティア交流会」を開催する。今回は第90回選抜高校野

球大会に出場する、おかやま山陽高校野球部の堤尚彦監督を招き「野球を世界に広めたい! だから甲子園に行く」と題した講演会が行われる。

堤監督は、JICAを通じて世界の子どもたちに野

けた倉掛自治連合会は、井原市都市建設課へ対応策について相談。現在、その回答を待っている。

井原市社協では、赤羽根カフェの活動発表や、とくとバッグ・福祉事業所の食品&物販販売、東日本大震災復興支援の多賀城市銘菓販売、栄養ボランティアいばらによる手作りちくわカリーのサービスも行う。問い合わせは電話62-11484へ。